

令和5年度補正予算（案）について

令和5年11月
環境省

- 地域・くらしのGXを通じて、エネルギーコスト上昇への対応や国内投資を促進していくため、地域脱炭素、住宅・建築物の断熱化、国民運動の「デコ活」、食品ロス削減などの循環経済の加速化等の取組を実施する。
- 二国間クレジット制度の活用や、衛星観測データの活用など、我が国の優れた技術を活かした世界のGXへの貢献を進める。
- インバウンド需要やオーバーツーリズムへの対応として、地方への誘客促進による利用分散等の観点から、国立公園等における施設整備や滞在体験の魅力向上、また、観光地でのごみのポイ捨て対策を講じ、地方の成長につなげる。
- 一般廃棄物処理施設の整備、災害廃棄物の処理、鳥獣被害対策、PFAS（有機フッ素化合物）対策等を推進し、国民の安全・安心の確保に貢献する。

(☆)：エネ特会 (★)：GX推進対策費 (△)：デジタル庁計上予算

I. 地域・くらしのGXを通じた物価高対策・国内投資促進

・地域脱炭素移行・再エネ推進交付金(☆)	135億円
・地域再エネの最大限導入のための地方自治体の計画づくり支援(☆)	19億円
・初期費用ゼロ型太陽光発電等の再生可能エネルギー設備全国導入加速化支援(☆)	82億円
・断熱窓への改修促進(★)	1,350億円
・既存住宅の断熱リフォーム等加速化(☆)	14億円
・業務用建築物の脱炭素改修加速化事業(★)	111億円
・建築物等のZEB・省CO2化促進(☆)	62億円
・商用車の電動化促進事業(★)	409億円
・工場・事業場における先導的な脱炭素化取組の推進(☆)	40億円
・プラスチック資源・金属資源等の脱炭素型有効活用設備等導入促進(☆)	32億円
・自動車リサイクルにおける再生材利用拡大に向けた産官学連携推進事業(一部☆)	17億円
・食品ロス削減、サステナブル・ファッション等の推進及び「デコ活」を契機としたライフスタイル変革推進事業(一部☆)	6億円
・国立環境研究所防災用蓄電池設備更新整備及び有害排気浄化装置(スクラバー)安全確保更新整備	7億円
・イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業	1億円

II. 世界のGXに資する我が国の優れた技術への投資促進

- ・脱炭素移行促進に向けた二国間クレジット制度（JCM）の推進（一部☆） 29億円
- ・GOSATによる地球環境観測データの品質向上（一部☆） 10億円

III. 国立公園の魅力向上等を通じた地方の成長

- ・自然公園等の施設の整備 48億円
- ・国立公園の利用推進 13億円
- ・世界遺産保全管理拠点施設等の整備及び保全管理対策 6億円
- ・ごみのポイ捨て・発生抑制対策等モデル事業 2億円

IV. 災害対応等による国民の安全・安心の確保

- ・防災拠点や避難施設となる公共施設への再生可能エネルギー設備等導入支援（☆） 20億円
- ・一般廃棄物処理施設の整備（一部☆） 1,035億円
※内閣府、国土交通省計上予算を含む
- ・災害に強い浄化槽の整備による防災対策の拡充 5億円
- ・災害等廃棄物処理事業費補助金 49億円
- ・廃棄物処理施設災害復旧事業費補助 5億円
- ・PCB廃棄物処理設備のPCB除去・原状回復等事業費 40億円
- ・課題対応型産業廃棄物処理施設運用支援事業 15億円
- ・産業廃棄物不法投棄等原状回復措置推進費補助金 2億円
- ・プラスチック等海洋ごみ回収・処理等支援 35億円
- ・鳥獣の捕獲事業支援 23億円
- ・クマ緊急対策事業 1億円
- ・昆明・モンリオール生物多様性枠組の実施のための特別信託基金拠出金 7億円
- ・特定外来生物防除等対策事業 4億円
- ・PFAS対策の推進 2億円
- ・子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査） 6億円
- ・媒体横断的な環境管理の課題への対応力の強化（国立環境研究所運営費交付金） 4億円

・次期環境省ネットワークシステムの構築事業（△）	8億円
・次期環境省ホームページの構築事業（△）	5億円
・大気汚染物質広域監視システム整備事業（△）	3億円
・次期捕獲情報収集システムの構築事業（△）	0.4億円
・国立公園業務管理システムの更改に係る調査研究事業（△）	0.2億円
・バーゼル法及び廃棄物処理法事前相談システムの機能改修事業（△）	0.5億円
・産業廃棄物行政情報システムの機能改修事業（△）	0.3億円

V. その他

・既定経費の増額	4億円
----------	-----

環境省追加額合計（他省庁計上予算含む。） 3, 6 6 4億円